

3 - 6 房総半島南部における傾斜観測(2)

Tilt Observations at Iwai-Kita and Iwai-Minami Observation Wells, Boso Peninsula (2)

国立防災科学技術センター
National Research Center for Disaster Prevention.

前報¹⁾に続き、岩井北および南観測井の坑井式傾斜計の観測結果を報告する(第1図)。

期間は1977年9月から1978年5月までの9ヶ月分である。ドリフトの傾向は以前と同じである。

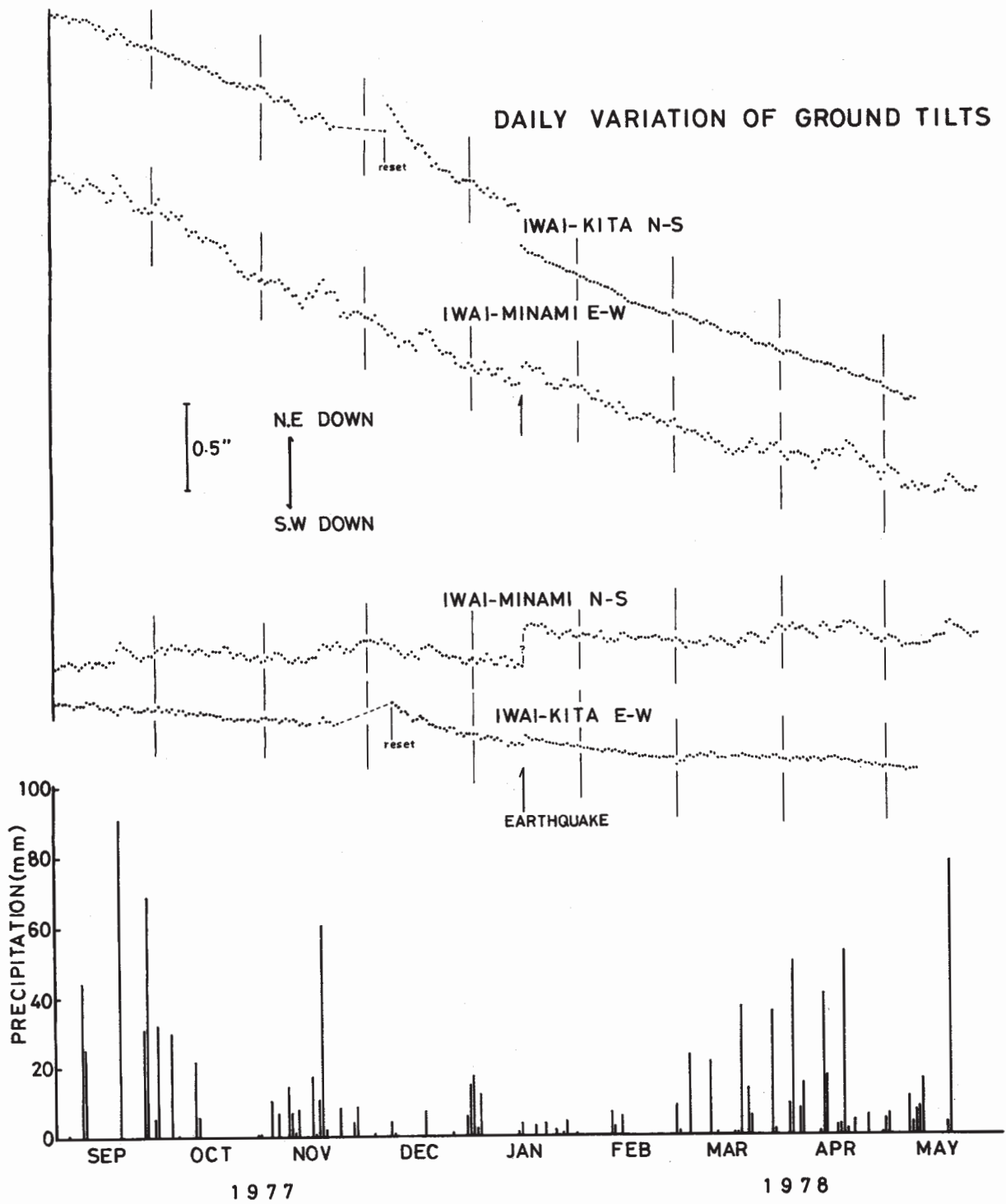
1978年1月14日に、伊豆大島近海地震が発生したが、震央から約70kmはなれている両観測井では、地震に関連すると思われるような、明らかな地震前の傾斜変化はなかった。1978年1月の初旬には、観測点付近に降雨がなかったにもかかわらず、日平均値の変動が見られるが、地震による影響であるかどうかははっきりしない。

この地震により、両観測点とも記録上にステップが現われ、その大きさは、岩井北の東北成分が0.06秒東下り、南北が0.20秒南下り、岩井南の東西成分が0.11秒東下り、南北成分は北下りでスケールアウトのため、変動量は不明である。しかし、この変化が本当の地盤傾斜なのか、機械的なものかは区別できない。

(鈴木宏芳)

参 考 文 献

- 1) 国立防災科学技術センター：房総半島南部における傾斜観測，連絡会報，19，(1978)
42 - 44



第1図 岩井北・南観測井における傾斜変化（日平均）

および降水量（1977.9～1978.5）

Fig. 1 Ground tilts at Iwai-Kita and Iwai-Minami Observation wells (daily mean values) and precipitation for the period, Sep. 1977-May 1978.